

リサーチセンター進捗状況報告書

センター名	インテリジェントセンシングシステムリサーチセンター
センター長名	石田 誠
設置の時期	平成17年4月 1日
報告書作成日	平成24年5月20日

1. 設置の目的

21世紀 COE 拠点形成プログラム「インテリジェントヒューマンセンシング」を基盤として、インテリジェントセンシングシステムの研究開発、及び当該分野における若手研究者の育成を行う国内外の中核拠点の役割を果たす。

2. 設置後の研究成果

GCOE プログラム「インテリジェントセンシングのフロンティア」拠点形成活動においても (H19年度開始)、本リサーチセンターを核としたスマートマイクロチップ基盤技術とその新規応用分野である先端的“知”との融合により、次の3つのフロンティア形成を推進した。その結果、当初目標に沿って多くの成果を創出し、国際的に卓越した教育研究拠点形成の基盤を構築して5年間の活動を終えることができた。そして本拠点形成事業終了後の継続展開も全学的規模で本格的に開始された。

1. 研究活動：先端的“知”を取り入れた新しい価値を創造する「インテリジェントセンシング」の開拓において、融合研究と先端要素技術研究で新規な成果の創出に成功した。

2. 人材育成：「センシングアーキテクト」の育成のために、独自に構築・開発した経済的・教育的支援プログラムの推進と運営体制により、キャリアパスの確立（半数以上が企業に就職）を始め、海外有名大学への就職（研究員）や企業との共同研究の獲得など、目標としてきた世界的視野に立った考え方ができる人材や社会（企業）の要請に応える人材などがより多く育つようになった。

3. 国際展開：米・欧・アジア地域の大学との連携や学生・教員の交流を積極的に行い、毎年20件以上の研究インターンシップを実施した。また”LifeChips 2012”（第3回、米 UC Irvine 校と共催）、「AP-IRC2011」（EIIRIS と共催）、「GCOE シンポジウム東京2012」などを開催し、本拠点の活動や成果を広く世界に発信した。

その他：成果の公表：「GCOE シンポジウム東京2012」では、“グローバル社会を牽引するグローバルリーダーの育成”をテーマに、①企業トップ4名を招き本音の討論や講演、②「センシングアーキテクト」育成とその成果報告、③育成アーキテクトOB、現役の研究発表を介した自己紹介などを行った（参加申込450名超；全国紙に掲載）。「GCOE 活動成果報告書」は、3つのフロンティア形成と将来展開を骨子にした構成で、イラストと写真を多用した雑誌風の分かりやすくビジュアルな書籍とし作成した。関係教育機関等に配布すると共に、大学受験生を含め幅広い層への広報活動の一環として活用している。

3. 今後の研究計画及び期待される効果

本拠点形成事業終了後も、21世紀 COE と GCOE の成果をもとに融合研究の更なるグローバル化とグローバル人材の育成を「EIIRIS」（H22年10月設立）と博士課程学生育成プログラム「テラーメード・バトンゾーンプログラム」を中核にして全学的規模で本格的に開始されている。新たな境界・融合領域の開拓やそれを牽引するグローバル人材の育成が期待される。

この進捗状況報告書は、評価の後公表します。